



メナヘム・プレスラー ©Alain Baker



広上淳一 ©Greg Sailor

FOCUS

11.20 [金] 21 [土] 水戸芸術館開館25周年記念事業 水戸室内管弦楽団 第94回定期演奏会
広上淳一、7年ぶりにMCOの指揮台に登場。
名匠プレスラーとの共演も。

文 関根哲也

小澤征爾総監督が水戸室内管弦楽団(MCO)を指揮したベートーヴェンのシリーズは、8月に最新盤「第2番&第8番」も発売され(ユニバーサルミュージックUCCD-1421)、絶好調で進んでいます。小澤総監督は引き続き「優秀な室内管弦楽団でなくては実現不可能」(小澤総監督自身の発言)なベートーヴェン演奏に腰を据えて取り組んでいく予定です。

さて、第94回定期演奏会では、MCOを指揮するのは7年ぶり、3回目となるマエストロ広上淳一をお迎えします。マエストロ広上は、小澤総監督とMCOがベートーヴェンの交響曲シリーズを継続中であることを踏まえ、ハイドン：交響曲第102番、モーツァルト：ピアノ協奏曲第27番、モーツァルト：交響曲第41番〈ジュピター〉というプログラムをご提案くださいました。いずれも18世紀古典派音楽の頂きに輝き続ける名曲ですが、それらを組み合わせたポピュラーなプログラムというにとどまらず、ハイドン、モーツァルトの時代から、ベートーヴェンの時代へとつなぐ重要な架け橋のような曲ばかり集められていることも、注目すべきポイントです。マエストロ広上は、定期演奏会が相互によい影響を及ぼし合い、私たち聴き手がハイドンからベートーヴェンまでの古典派音楽をより深く楽しめるようにと、このプログラムを考えてくださったのかも知れません。

深まりゆく秋にぴったりのプログラ

ム、心ゆくまでお楽しみいただければ幸いです。

ハイドン：交響曲 第102番 変ロ長調 Hob.I-102

ハイドン(1732～1809)後期の傑作。作曲は1794年。前後に〈軍隊〉(時計)〈太鼓連打〉〈ロンドン〉といったニックネーム付きの交響曲が並んでいるためか、あまり演奏の機会に恵まれません。堂々とした響きとハイドンらしいユーモアにあふれた交響曲です。第3楽章は伝統にならいメヌエットですが、優雅さ以上に鋭さや機知に富んだ表現が際立ち、ベートーヴェンのスケルツォの予兆のようにも響きます。

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第27番 変ロ長調 K.595

モーツァルト(1756～1791)最後のピアノ協奏曲。モーツァルトは11歳の時に第1番を作曲してから、生涯にわたってピアノ協奏曲を作曲してきましたが、死の年に作曲されたこの曲は、それまでに書かれた他のどのピアノ協奏曲とも似ていません。ピアノ協奏曲はモーツァルトにとって、自らがソリストとして演奏し、聴衆を楽しませ、ひいては多大な収入を得るためのジャンルでした。そのような現実的な目的が、この最後のピアノ協奏曲では薄れています。彼岸への至純な憧れだけが響く音楽、とでも言えるでしょうか。

モーツァルト：交響曲 第41番 八長調 K.551 〈ジュピター〉

1788年、第39番・第40番と同時期に作曲された、モーツァルト最後の交響曲。当時、演奏会や催事の序曲的あるいは装飾的な役割を担っていた交響曲というジャンルを、それ自体で完結した音楽作品として、芸術的にも形式的にも自立させたのがモーツァルトの後期交響曲ですが、その中でも第41番は完璧なバランスと威容をもってそびえたつ名曲と言えるでしょう。自立した作品としての交響曲の流れは、その後、ハイドンのザロモン・セット(第102番も含まれる)を経て、ベートーヴェンの交響曲へとつながっていきます。ちなみに〈ジュピター〉というニックネームは、ハイドンに交響曲作曲を依頼したロンドンの興行主ザロモンが付けたと言われています。

ボザール・トリオの名匠プレスラー

伝説のピアニスト、メナヘム・プレスラーの登場も大きな注目を集めています。1923年、ドイツ生まれのピアニスト。1955年から2008年までボザール・トリオのピアニストとして主に室内楽の分野で活躍。トリオ解散後は、ソリストとしても活動し、2014年1月には90歳でベルリン・フィルハーモニー管弦楽団にデビューしたことが大きな話題となりました。

そのベルリン・フィル団員とのインタ

ビューで、プレスラーはモーツァルトの最後のピアノ協奏曲についてこう語っています。

「ほとんどすべてのモーツァルトのピアノ協奏曲は、極めて重要な価値を持っています。先週、アムステルダムで最後の変ロ長調のコンチェルトを弾きました。モーツァルトは、この作品を自分のために書いています。彼は演奏会を自分自身への慈善演奏会として計画しましたが、切符がさばけることを狙って、意識的に(当時人気を博していた)クラリネットのパートを書いているのです。18世紀の人々が、彼の価値を理解できなかったことは、恥ずべきことです。しかし、今日の我々は、彼の価値を理解できます。変ロ長調のコンチェルトは、天国的な部分もありますが、同時に悲しい個所もあります。しかし最後には、天国に入ってゆくのです。」(2014年1月)

筆者は2014年4月にサントリーホールで行われた「庄司紗矢香 & メナヘム・

プレスラー デュオ・リサイタル」を聴き、音楽への深い愛がそのまま音にあらわされたかのような演奏に、大きく心を動かされました。特に、アンコールで弾かれたショパンのノクターンとマズルカは印象的でした。

あの心が洗われるような素晴らしいピアノが、マエストロ広上 & MCO との共演で水戸芸術館のホールに響くと思うと、今から楽しみでなりません。皆様もどうぞ、お聴きのがしなく。

豊田公演

11月20日、21日の水戸芸術館での定期演奏会の後、22日は愛知県の豊田市コンサートホールで館外公演を行います(出演者、曲目は定期演奏会と同じ)。水戸室内管弦楽団が中部地方で公演を行うのは、1998年の愛知県芸術劇場公演以来17年ぶり2回目。お近くにお住いの方、この機会にぜひ水戸室内管弦楽団の演奏をお聴きいただき、ご感想をお寄

せいただければ幸いです。

水戸芸術館開館25周年記念事業

水戸室内管弦楽団
第94回定期演奏会

11/20 **金** 18:30 開場
19:00 開演
11/21 **土** 13:30 開場
14:00 開演

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM
全席指定 S席 7,000円、A席 5,500円、B席 4,000円、ユース(25歳以下) 2,500円
出演 広上淳一(指揮)
メナヘム・プレスラー(ピアノ)

曲目
ハイドン:交響曲第102番 変ロ長調 Hob.I-102
モーツァルト:ピアノ協奏曲第27番
変ロ長調 K.595
モーツァルト:交響曲第41番 八長調 K.551
(ジュピター)

水戸室内管弦楽団 豊田公演

11/22 **日** 14:30 開場
15:00 開演

会場/お問い合わせ
豊田市コンサートホール (0565-35-8200)
※出演者、曲目は第94回定期演奏会と同じ

self PORTRAIT 茨城の演奏家たち

11.1 **日** at 14:30 市毛恵子 ピアノトリオコンサート～三大B!～



早いもので、チャリティコンサートを始めて今回で23回を数えます。今回は一般的にドイツ音楽の「三大B」と言われているJ.S. バッハ、ベートーヴェン、ブラームスに焦点をあててプログラムの構成をいたしました。

今までのコンサートの中で演奏す

る機会が多かったのがこの三人で、個人的にドイツ音楽が好みということもありますが、特にバロック音楽の頂点に立つJ.S. バッハ、ロマン派音楽の先駆者であるベートーヴェン、ロマン派音楽の中にありながら新古典派の様相を持つブラームスのそれぞれの音楽性に魅かれて、多くの機会を持ってまいりました。チャリティコンサートも当初の目標だった20回を数回越え、この辺で今一度、自分の原点を見つめてみたいという気持ちから、演奏する機会が多かった三人を選択いたしました。

共演者の工藤由紀子さんは1回目から、伊藤耕司さんは2回目から一緒にさせていただいています。2人と長く続いておりますのも音楽的に共感する部分が多いことは勿論です

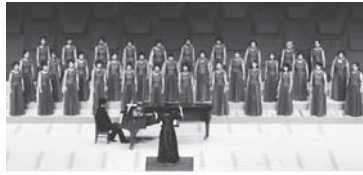
が、何より一緒に演奏していてとても心地よいことが一番にあげられます。工藤さんの真摯に音楽に取り組む姿勢にいつも刺激されますし、非常に博学で演奏以上(?)にお話しを聞くのが楽しみになっている伊藤さんとの共演が本当に快く、コンサートでそういった感覚がお伝えすることが出来ればと思っております。

最近の天変地異や先の見えない時代を生きて行く不安などでストレスにさらされることが多いですが、一時、日常から離れて癒しの時間をもっていただければ幸いです。

多くの方のご来場を心よりお待ちしております。

市毛恵子

11.29 日 at 14:00 アルモニア Rosa 第3回コンサート



水戸市内で活動している2つの女声合唱団が更なる美しいハーモニーを目指し、2003年アルモニア Rosa を結成し12年が経ちました。

私達は、小柳景子先生の合唱音楽への深い情熱と探究心をもって、発声法やハーモニー作り、言葉の表現など熱いご指導をいただき、様々なジャンルの合唱曲に取り組み充実した活動をしてまいりました。

2008年水戸芸術館で1st コンサート、2012年日立シビックセンターで2nd コンサート、そして3rd コンサートを再び水戸芸術館で開催できますことは、大変嬉しく感謝しております。

この3年、ピアニスト・声楽家・チェンバロ奏者である圓谷俊貴氏に私達の音楽を支えていただきました。圓谷氏の見事なピアノの表現力と華麗なテクニクにもご注目下さい。

第1ステージは、慈愛に満ちた聖母マリアに捧げられたマリア讃歌と聖歌を、私達の気持ちと重ねて歌いたいと思います。

第2ステージは、2013年「おかあさんコーラス全国大会」で私達にとっての難曲、鈴木輝昭作品「宇宙の果物」を、大阪フェスティバルホールで熱唱してひまわり賞に輝いたステージを再現したいと思います。

第3ステージは、ヴィヴァルディの〈四季〉に日本の抒情歌を組み合わせさせた信長貴富編曲〈ヴィヴァルディが見た日本の四季〉を、将来有望な若手演奏家達、久保田綾香さん佑里

さん姉妹、野口わかかなさん、辻菜々子さんの弦楽と圓谷氏のチェンバロで、どうぞお楽しみ下さい。

第4ステージは、2012年日本音楽コンクール作曲部門第一位の新進気鋭の作曲家、平川加恵氏の委嘱作品〈十全なる薔薇〉を初演いたします。この度私共アルモニア Rosa に寛俣游氏が書きおろして下さった詩に想いを込めて歌い上げたいと思います。

最終ステージは、三善晃の不朽の名作〈三つの抒情〉。多彩な音の響きや表情の表現を追求しながら練習を重ねてまいりました。心をひとつに精一杯演奏したいと思います。

晩秋のひとつとき、どうぞご来場いただきご高覧賜りますようお願いいたします。

アルモニア Rosa 石川乃梨子

11.8 日 中学校合唱の祭典 ～芸術館で歌おう～ 学校代表に選ばれた水戸の中学生たちが、芸術館で歌声を披露します。

文 中村晃

水戸市内の中学校では、毎年、それぞれの学校内で合唱コンクールを行っています。本公演は、そのコンクールで各学校の代表に選ばれたクラスや団体が一堂に会し、その歌声を披露する演奏会です。

コンサートの運営も、各校から選出された中学生たちによるプロジェクト委員が担当します。また、ゲストに茨城出身のソプラノ歌手・小泉恵子さんをお迎えし、独唱曲を歌っていただきます。

中学校合唱の祭典

11/8 日 午前の部 開演 10:00
午後の部 開演 14:15
会場 水戸芸術館コンサートホール ATM
入場無料 (関係者以外の座席を一般に開放します。)
ゲスト: 小泉恵子 (ソプラノ)

2015.9.12

小さな聴き手のためのコンサート 音楽物語 ぞうのパパール

3歳の子どもからご入場いただける「小さな聴き手のためのコンサート」。出演は現代音楽の弾き手としても高い評価をうけているピアニスト、高橋アキさんと、人気落語家の柳家花緑さんでした。進行役として花緑さんが登場し、楽しい小唄で冒頭から客席は大いに沸き、まずはアキさんによるサティの〈子どもの音楽集〉弾き語り、次はプーランク〈音楽物語 ぞうのパパール〉をお届けしました。音楽×語り×絵でお楽しみいただく水戸芸術館版「パパール」の上演は9年ぶり。今回新しい語り手として登場した花緑さんは、物

語を実に生き生きとユーモアを交えて語り、高橋アキさんの臨場感豊かで美しい演奏、二人の呼吸にもピタリとあったイラスト上映と絶妙なコンビネーションを繰り広げ、新星「パパール」が生み出されました！《高巣》アンケートから■とてもすばらしいコンサートでした。もう少し聴いていたいくらいです。(水戸市:無記名の方) ■こんなに家族づれの小さな子どもの参加、うれしくなりました。未来へつながると思います。(水戸市:無記名の方) ■ぜひいたくな空間をありがとうございます。子ども達の顔が生き生きしていましたね。(筑西市:T.S.さん) ■柳家花緑さんはとてもお話がじょうずで、高橋アキさんのピアノもとてもすてきでした。図書館にぞうのパパールの本があったら読んでみたいです。(水戸市:無記名の方)

最近の公演から



1: 小さな聴き手のためのコンサート 音楽物語 ぞうのパパール

チケット・インフォメーション

《10月31日(土)発売分》

- クリスチャン・ツィメルマン ピアノ・リサイタル
2016年1/11(月・祝) 17:00 開演
料金[全席指定]A席 ¥8,500 / B席 ¥7,000 / ユース(25歳以下) ¥3,000
- ちょっとお昼にクラシック 幸田浩子(ソプラノ)
2016年1/30(土) 13:30 開演
料金[全席指定]A席 ¥1,500、B席(ステージ裏) ¥1,200(1ドリンク付き)
- ロレンツォ・ギエルミ オルガン・リサイタル
2016年2/3(水) 19:00 開演
料金[全席指定]A席 ¥3,000 / B席 ¥2,000 / ユース(25歳以下) ¥1,000

これからの演奏会・残席情報

○…残席あり(20席以上) △…残席わずか(20席未満) ×…残席なし
中央…中央ブロック 左右…裏…左右ブロックおよびステージ裏 補助…補助席

- ◎小曾根真 プレミアム・ジャズ・ライブ
……………10/18(日) 中央×、左右・裏△、補助△
- ◎佐藤篤 ピアノ・リサイタル……………10/31(土) 自由席○
- ◎市毛恵子 ピアノトリオコンサート……………11/1(日) 自由席○
- ◎水戸室内管弦楽団 第94回定期演奏会(指揮:広上淳一)
……………11/20(金) 中央△、左右・裏△
……………11/21(土) 中央×、左右・裏○
- ◎アルモニア Rosa 第3回コンサート……………11/29(日) 自由席○
- ◎中村真由美&中村佳代 ピアノ・デュオ・リサイタル
……………12/13(日) 自由席○
- ◎クリスマス・プレゼント・コンサート 2015
……………12/23(水・祝) 中央×、左右○

※10/7(水)現在の状況です。
※固定席が売り切れ次第、補助席を販売いたします。

水戸芸術館の主な11月のスケジュール

コンサートホール ATM

- 市毛恵子 ピアノトリオコンサート
11/1(日) 14:30 開演
料金[全席自由] 一般 ¥2,500 / 大学生以下 ¥1,500
- 中学校合唱の祭典 ～芸術館で歌おう～
11/8(日) 第1部 10:00 開演 / 第2部 14:15 開演
入場無料[全席自由] ※関係者席以外の座席を一般に開放いたします。
- 水戸室内管弦楽団 第94回定期演奏会(指揮:広上淳一)
11/20(金) 19:00 開演、11/21(土) 14:00 開演
料金[全席指定] S席 ¥7,000 / A席 ¥5,500 / B席 ¥4,000
/ ユース(25歳以下) ¥2,500
- アルモニア Rosa 第3回コンサート
11/29(日) 14:00 開演
料金[全席自由] 一般 ¥1,500 / 高校生以下 ¥1,000

エントランスホール

- パイプオルガン プロムナード・コンサート
11/14(土) 龍田優美子、28(土) 木村理佐
各日 12:00 ~ / 13:30 ~ (各回 30分程度) 入場無料

ACM 劇場

- ACM ファミリーシアター ルドルフとイッパイアッテナ
10/31(土) 13:00 開演、11/1(日)、3(火)、7(土)、8(日) 各日 11:00 開演
料金[全席指定] 大人 ¥2,000 / こども(小学6年生以下) ¥800
- 伝統芸能のススメ [狂言] 萬狂言水戸公演 2015『鐘の音』『文相撲』
11/15(日) 14:30 プレ・パフォーマンス・トーク、16:00 狂言公演
料金[全席指定] S席 ¥4,500 / A席 ¥4,000 / B席 ¥3,500

現代美術ギャラリー

- 3.11以後の建築
11/7(土) ~ 2016年1/31(日) 9:30 ~ 18:00 ※入場は17:30まで
[休館日] 月曜日、年末年始 12/27(日) ~ 1/4(月)
※ただし11/23、2016年1/11(月・祝)は開館、11/24、
2016年1/12(火)は休館
[入場料] 一般 ¥800 / 前売り・団体(20名以上) ¥600
※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名は無料
- クリテリウム 91 瀬尾夏美 ※料金は展覧会の入場料に含まれます。

茨城の主な11月の演奏会

- 常陽藝文ホール TEL / 029(231)6611
・一般社団法人茨城演奏家連盟 第17回定期演奏会
11/29(日) 13:30 開演
- 茨城県立県民文化センター(大ホール) TEL / 029(241)1166
・大野雄二&ルバンティックファイブ「ルバンジャズライブ」
11/13(金) 18:30 開演
- 日立シビックセンター(音楽ホール) TEL / 0294(24)7720
・洋楽文庫第1章「ライナー・キュッヒル ヴァイオリン・リサイタル」
11/15(日) 14:00 開演
- 東海文化センター TEL / 029(282)8511
・渡辺香津美 con 沖仁~狂熱のギターデュオ~
11/28(土) 15:00 開演

チケットに関するお問い合わせ

- 水戸芸術館チケット予約センター TEL 029-231-8000
営業時間: 9:30 ~ 18:00 (月曜休館)
- 公演内容や企画に関するお問い合わせ
水戸芸術館音楽部門 TEL 029-227-8118
- ホームページ <http://arttowermito.or.jp/>
公式ブログ <http://blog.arttowermito.or.jp/staff/>
ATM 便り 毎月1回茨城新聞に不定期登場
twitter @ConcertHall_ATM

編集後記

どうしてきましょう、止まらないこの食欲。ここ最近で、史上最高潮に達しています。お昼に持参のお弁当に加えて、買い食いしてしまう始末。何を食べても美味しいんだもの。これはきっと、秋のせい、秋のせい…。(り)

夜はだいぶ冷えるようになって、夏場は床で寝ていた猫も徐々に寄ってくるようになった。布団に入ってくるタイプではないが、人が横になっていると頭(もはや顔の上)ののってくる。飼主というより床暖房扱い。(福)

サンマは1本、2本と数えるようで、秋刀魚という漢字と同じく、あのシャープな体に似つかわしいですね。先日、炭火焼きでいただきました。ペロりと2本。そうして自分の腹回りの肉が気になり始めた秋。しみじみ。(篠)

都内で時間が空いてしまった時のお気に入り、東京駅近くの「インターメディアテック」。東大の学術資料である年代物の虫の標本や動物の骨がズラリ。瞬く間に19世紀にタイムスリップ。私も標本になりたい!?(て)

ヒマラヤの桃源郷ブータンを訪れた。断崖に建つタクツァン僧院での出来事。祭壇を見ると、線香を入れる容器の一つが某有名ポテチの筒…!お坊さんが意味深にほほ笑んだ。形より中身が大事という教えと受け取った。(樹)

農耕民族は農作業に由来する4拍子、騎馬民族は乗馬の動作の3拍子という説がある。何の気まぐれか乗馬の体験会に参加した。無論、風を切る軽やかな3拍子には程遠く、馬もべた足で進む農耕民族的な騎乗だった。(中)

水戸芸術館音楽紙 [ヴィーヴォ]
2015年11月発行 第202号
編集発行: 水戸芸術館音楽部門
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8
TEL 029-227-8118 FAX 029-227-8130
E-MAIL ankmr@arttowermito.or.jp
URL <http://arttowermito.or.jp/>
編集: 水戸芸術館音楽部門(五十音順) / 石井亮子
福田枝里子 篠田大基 関根哲也 高栗真樹 中村晃
デザイン: 藤澤絢子
印刷所: 山三印刷株式会社